

令和5年7月5日(水)

第3校時 10:20~11:10

3年3組 標準クラス 22名

指導者 半田 文香

1. 単元名 佐々木禎子さんの物語に学び、平和への思いを発信しよう。

(NEW CROWN English Series 3 Lesson 3 The Story of Sadako)

2. 単元について

本教材は、修学旅行で広島を訪れたわかば中学校の生徒が、原爆ドームや広島平和記念資料館を見学したり、パンフレットに掲載されていた佐々木禎子さんの物語について読んだりしながら、戦争の悲惨さと平和の尊さを考える内容となっている。物語の段落と時間・場面の転換を意識することで、物語全体の概要や要点、登場人物の心情を捉える力を育成することができる。

言語材料としては後置修飾を学習する。日本語は前置修飾であるのに対し、英語は後置修飾の形をとることが多い。後置修飾の形に慣れることで、本単元以降で学習する関係代名詞や接触節など英語特有の形を習得していく入口となる。

本学級の生徒は、学習に主体的に取り組み、学びに向かう態度は身に付いている。令和5年1月に行われた臼杵市基礎基本テストの結果を見ると、目標値及び全国平均正答率を上回っており、おおむね力を付けていると言える。しかし、4月に行ったアンケートでは、「読むこと」に対して苦手意識をもつ生徒の割合が高いことが分かった。『読むこと』は得意か』の質問項目に対して、肯定的な回答をした生徒の割合は、わずか11%であった。その理由として、読めない(英文の音声化ができない)、語彙力の不足、どこにポイントを絞って読めばいいか分からない、という点が挙げられていた。また、臼杵市基礎基本テストにおいて、領域別正答率をみると「読むこと」の領域のみが全国平均正答率に0.3ポイント達していなかった。

指導にあたっては、まず、音読が苦手な生徒に配慮する。学習者用デジタル教科書を活用して、生徒一人ひとりが自分の読めない部分を何度も聞きながら練習できるように、時間を十分に確保するとともに、個に応じた音読指導を行う。このような指導を通して、読めない単語や文を減らすことで、読むことへの心理的な負担を減らすように心がけたい。

次に、語彙指導においては、積極的な辞書の使用を促し、生徒が主体的に必要な語を調べることで「分からない単語」との出会いを楽しみながら語彙を増やしていくことを目指す。また、「読むこと」の指導では、生徒が主体的に取り組めるよう、指導者はファシリテーターとして関わるように心がける。どう読み進めたかを言語化し、共有することで、学びを深めさせたい。その際、一語一語や一文一文にとらわれ過ぎず、理解できない部分があっても、英文を読み進めることに慣れさせ、繰り返し読むことで次第に理解できるようにしたい。

また、ポイントを絞って読むことができるようにするため、Lesson 1~3を見通し、文章の構成を意識させる指導を行う。

Lesson 1	意見文	段落の役割に着目し、筆者の体験談を含む意見文の概要や筆者の思いを読み取ることができるようにする。
Lesson 2	説明文	Lesson 1で学習した段落の役割を活用しながら、Lesson 1の英文との展開の違いに着目させ、概要を捉えたり、内容を要約したりできるようにする。
Lesson 3	物語文	Lesson 1、2で学習した段落の役割の考え方を基に、生徒たちがこれまで国語科で学習した物語文の読み方を活用できるようにする。

国語科では登場人物、時間、場面の転換に着目し読むように指導している。英語科においても、時間や場面の転換がわかる表現や語句をおさえながら、物語の展開や概要、要点を捉えさせたい。その上で、推論発問を投げかけることにより、物語をより深く理解できるように導いていきたい。

さらに、「読む」目的を明確にし、読んだことをもとにして「書くこと（発信）」へつなげる指導を行う。令和5年5月に行われたG7広島サミットにおいて、世界各国の首脳が広島を訪れたことを想起させ、世界唯一の戦争被爆国である日本人として、戦争の悲惨さを世界に英語で発信し、平和の尊さを伝えていくために物語を読むことに取り組ませる。その内容をもとにして、生徒自身が平和への思いを書かせ、平和記念館を訪れる外国の方々などに発信させたい。

3. 単元の目標

平和への思いを世界へ発信するために、時や場面を表す語句や登場人物の心情に着目して、佐々木禎子さんについて書かれた物語の概要や要点を捉えることができるようにするとともに、それを要約しながら簡単な語句や文を用いて平和へのメッセージを書くことができるようにする。

※ 本単元における「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

4. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
------	--

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<p>〈知識〉後置修飾（動詞の～ing形/過去分詞）の特徴やきまりを理解している。</p> <p>〈技能〉後置修飾（動詞の～ing形/過去分詞）の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	平和への思いを世界へ発信するために、佐々木禎子さんについて書かれた物語を読んで、その概要や要点を捉えている。	平和への思いを世界へ発信するために、佐々木禎子さんについて書かれた物語を読んで、その概要や要点を捉えようとしている。

6. 指導と評価の計画（6時間扱い）

○：指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

時間	学習活動	知	思	主	評価規準【評価方法】
1	<ul style="list-style-type: none"> とびらページを使って、単元の目標を設定する。 後置修飾（動詞の～ing形）などを活用して、特定の動作をしている人物について聞き取る。 絵の中の人物について、後置修飾（動詞～ing形）などを用いて、クイズ形式で伝え合う。 	○			<p>〈知識・技能〉 後置修飾（動詞の～ing形）の特徴やきまりについて理解している。</p> <p>【記述分析】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 後置修飾（過去分詞）などを活用して、商品の生産地や使い方について話された英文を聞き取る。 絵で示された商品について、後置修飾（過去分詞）などを用いて、生産国や用途について簡単な語句や表現を用いて書く。 	○			<p>〈知識・技能〉 後置修飾（過去分詞）の特徴やきまりについて理解している。</p> <p>【記述分析】</p>

3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島原爆ドームでの丘先生の解説や、広島平和記念資料館見学後のケイトと丘先生の会話を読んで、その内容を理解する。 ・ ケイトの立場で、戦争に対する思いを英語で簡単に表現する。 	○		<p>〈知識・技能〉</p> <p>後置修飾（動詞の～ing 形/過去分詞）の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。【記述分析】【行動観察】</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島平和記念資料館のパンフレットに掲載されている佐々木禎子さんの物語について、段落ごとにおおまかな内容を読み取り、物語文の特徴を確認する。 		○ ○	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>《時間の流れや場面の転換に着目しながら、段落の役割を理解し、各段落の概要を》捉えている。</p> <p>【記述分析】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》捉えようとしている。</p> <p>【記述分析】【行動観察】</p>
5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐々木禎子さんの物語について、段落ごとに出来事を把握する。 ・ 事実に基づいて、佐々木貞子さんやその友達の心情を推測する。 		◎ ◎	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>《物語の概要や要点を捉えるとともに、事実に基づいて登場人物の心情を想像し、英文で》書いている。【記述分析】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》書こうとしている。</p> <p>【記述分析】【行動観察】</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐々木禎子さんの物語の要約文に自分の思いを添え、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、世界に発信するための平和への思いをまとまりのある文章を書く。 ・ 単元の目標を振り返る。 		○ ○	<p>自分の考えを整理し、佐々木禎子さんの物語の要約文と世界へ発信するための平和への思いを、まとまりのある文章で書いている。【記述分析】</p>
	後日ペーパーテスト		◎ ◎	

単元末に期待される生徒の姿 「世界に発信する平和への思い」

On August 6, 1945, an atomic bomb was dropped over Hiroshima. Sadako was two years old then.

When Sadako was in elementary school, she liked PE. She had a dream to be a PE teacher.

In the sixth grade, she ran as a member of the relay team for the sports day.

About a month after the sports day, Sadako became sick. When she went to the hospital, the doctor said to her parents, “She has cancer caused by the bomb. She can’t live long.”

In the hospital, she began to make paper cranes to wish for good health. She never lost hope.

But she died when she was twelve.

We must remember Sadako. We must see the reality of war in Hiroshima and think about world peace.

7. 本時案 (5 / 6)

(1) 題目 佐々木禎子さんの物語に基づいて、登場人物の思いにせまろう。

(2) 本時のねらい

佐々木禎子さんの人生を題材にした物語文について、段落ごとに出来事を把握したり、佐々木貞子さんやその友だちの心情を推測したりする活動を通して、物語の概要や要点を捉えるとともに、事実に基づいて想像した登場人物の思いを英文で書くことができるようにする。

(3) 展開

時間	学習活動	教師の指導及び支援	評価
8	1. Review&Warm up	○学習者用デジタル教科書の音声機能を使って、音読練習をさせる。	
2	2. 本時のめあてを確認する。	○単元のゴールを確認した上で、本時のめあてを確認する。	
佐々木禎子さんの物語に基づいて、登場人物の思いにせまろう			
20	3. Activities ① 段落ごとに出来事を把握する。	○出来事を把握するための5つの質問(事実発問)に答えることで、物語の概要や要点を捉えさせる。 ・「自分で考える→友だちと考える」ことを繰り返しながら、ワークシートに考えを書き込ませる。 ・どこに答えが書かれているのか、なぜそこを選んだのか等を共有しながら、英文の理解を深めさせる。 ○時系列に沿って表にまとめる	
15	② 読んだことを基に、佐々木禎子さんやその友だちの心情を推測する。	○登場人物の気持ちを考えるための質問(推論発問)に答えることで、英文の事実に基づき、佐々木禎子さんやその友だちの心情を推測させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Why did Sadako's friends make the statue of Sadako in Hiroshima?</div> ・自分の考えを持たせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">They want to tell about Sadako to many people.</div> ・次の視点から中間指導を行い、言語活動の充実を図る。 〈内容面〉物語に基づいて、登場人物の心情を推測しているか。(____線部) 〈言語面〉正確な英文で表現できているか。(____線部) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・ <u>According to the story</u>, Sadako died when she was twelve years old, <u>so they wanted</u> to tell about Sadako to many people. ・ They <u>wanted</u> to tell about Sadako to many people <u>because she died too young</u>.</div> ・ 中間指導を踏まえて、英文を完成させる。	〈思判表〉 《物語の概要や要点を捉えるとともに、事実に基づいて登場人物の心情を想像し、英文で》書いている。 【記述分析】
5	4. Reflection	○振り返りをさせ、数名に発表させる。	〈主体〉 《同上》書こうとしている 【記述分析】 【行動観察】

	<p>今日は、英語の質問に答えながら、禎子さんの人生についての事実を確認したり、禎子さんの友だちの気持ち考えたりした。According to ~などを使うと、本文のことを引用できることがわかった。本文から根拠を探したり、英文にしたりするのは難しかったけど、一生懸命に禎子さんの物語を読むことは楽しかった。</p>	
	<p>○今日の学習を活かして、次時は平和へのメッセージを英語で書くことを伝える。</p>	

本時で期待される生徒の姿 「佐々木禎子さんの物語をまとめた表」

Time/Scene	Fact
August 6, 1945	An atomic bomb was dropped over Hiroshima.
When Sadako was in elementary school	Sadako liked P.E. She wanted to be a PE teacher.
About a month later (after the sports day)	Sadako became sick. It was cancer caused by the atomic bomb.
In the hospital	Sadako made many paper cranes to go back to school. Her life ended.

Why did Sadako's friends make the statue of Sadako in Hiroshima?

- According to the story, Sadako died when she was twelve years old, so they wanted to tell about Sadako to many people.
- They wanted to tell about Sadako to many people because she died too young.